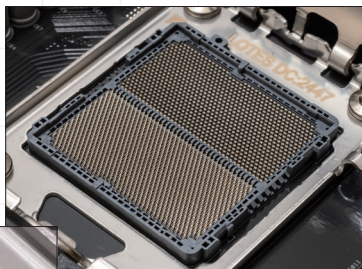


03. CPUの取り付け

CAUTION CPUの取り付けには細心の注意を払おう!

超重要!
ピンの折れ、
曲げに注意

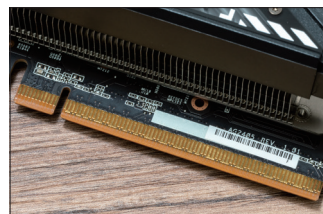
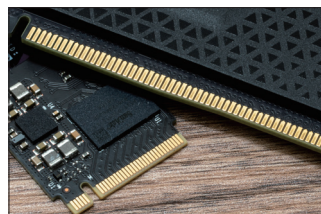
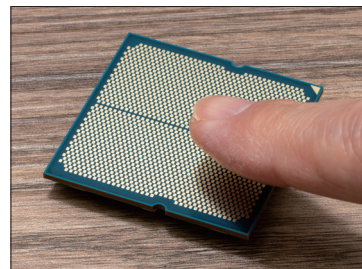


↑Socket AM5は、ソケットに1718本のピンが、ピシシと並んでいる。いくら興味を引かれても、指で触るのは論外。

←ピンがこうなったら終わり。一部のメーカーは、購入後の一定期間のみ無償で修理可能だが、それ以外は保証対象外だ。

金色の端子部を直に触るのはNG

⇄ピンと接触するCPU裏面の端子部を含め、メモリ、SSD、ビデオカードの端子部にも注意したい。端子部に手や指の脂、汚れが付かないようにしよう。



03-1 ▶ ロックレバーを外す



←CPUソケット横のレバーを横にずらして、上に持ち上げる。なお、CPUソケットが標準で備えている保護カバーは、そのままに作業を行って大丈夫だ。

03-2 ▶ ふたを奥側に開く



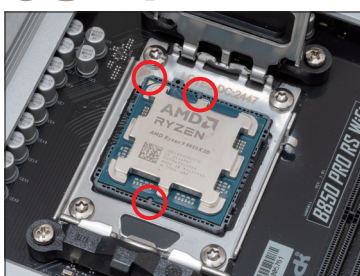
←レバーを引き起こしたら、保護カバーと一緒にふたを奥に開こう。ソケットピンに注意。

03-3 ▶ ソケットにそっと載せる

→CPUは指先でつまみ持ち。ソケットとCPUの左上にある▲印の位置を確認しながら、ソッと置こう。同工程には、静電防止手袋は使わず、“素手”で行おう。



03-4 ▶ 取り付け位置を再確認



←CPUの位置や、浮いていないかを確認。問題がなければふたを戻し、レバーを倒そう。

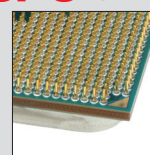
03-5 ▶ 保護カバーを取れば完了



←レバーは少し外に広げながら押し下げて、ロック位置に戻す。反発で指が滑らないように注意しよう。保護カバーは自然に外れる。必ず保管しておこう。



Socket AM4 CPUも基本は同じ



CPU裏にピンがある

⇄↑Socket AM4形状のRyzen CPUも、取り付けの流れは同じ。CPUとソケットにある印の位置を合わせて置き、レバーを倒せば大丈夫だ。